

微生物学・免疫学Ⅱ 担当講座（分野）： 微生物学講座（分子微生物学分野）

第3学年 前期

前期 講義 12.0時間 演習 3.0時間

一般目標（講義・演習）

病原微生物の感染症は宿主—寄生体相互作用の結果として発症する。第2学年で学習した医学全般に関連した微生物学と宿主側の感染防御機構たる免疫学をふまえ、第3学年では、歯科医師として最大のターゲットとなるう蝕と歯周病の病因論を中心に、口腔微生物学・免疫学を学習する。将来の歯科医師として必要な知識、技術を習得することはもちろんのこと、さらに生命科学としての最先端の口腔微生物学・免疫学についての理解を深める。

講義日程

| 月 日 | 担当者 | ユニット名 一般目標 | 到達目標 |
|----------------------------------|--------|--|---|
| 4月7日(月) 2限 | 木村重信教授 | フローラ 人体および口腔の正常フローラについて理解する。 | 1. 人体各部の正常フローラについて説明できる。 2. 口腔のニッチとその構成細菌について説明できる。 3. 正常フローラと日和見感染症について説明できる。 |
| 4月14日(月) 2限 4月21日(月) 2限 | 木村重信教授 | う蝕の細菌・免疫学 う蝕病原性細菌の性状とう蝕成立機序を理解する。 | 1. ミュータンスレンサ球菌の病原因子について説明できる。 2. う蝕の成立機序について説明できる。 3. う蝕成立機序に関わる宿主免疫系について説明できる。 4. う蝕免疫について説明できる。 |
| 4月28日(月) 2限 5月12日(月) 2限 | 木村重信教授 | 歯周疾患の細菌・免疫学 歯周病原性細菌の性状と歯周疾患の成立機序を理解する。 | 1. 歯周病原性細菌の性状とその病原因子について説明できる。 2. 歯周疾患の成立機序について説明できる。 3. 歯周疾患における Host-parasite relationship について説明できる。 |
| 5月19日(月) 2限 | 木村重信教授 | 歯内疾患の細菌・免疫学 歯内疾患の原因細菌の性状と歯内疾患の成立機序を理解する。 | 1. 歯内疾患の原因細菌の性状とその病原因子について説明できる。 2. 歯内疾患の成立機序について説明できる。 3. 歯内疾患における Host-parasite relationship について説明できる。 |

| 月 日 | 担当者 | ユニット名 一般目標 | 到達目標 |
|---------------------------------|--------------------------------------|---|--|
| 5月26日(月) 2限 6月2日(月) 2限 | 木村重信教授 | その他の口腔感染症と微生物、院内感染 その他の口腔感染症、およびその原因菌について理解する。院内感染について理解する。 | 1. う蝕、歯周疾患を除くその他の口腔感染症について説明できる。 2. その他の口腔感染症の原因微生物について説明できる。 3. その他の口腔感染症における Host-parasite relationship について説明できる。 4. 歯科医療における院内感染とその予防法について説明できる |
| 6月9日(月) 2限 6月16日(月) 2限 | 木村重信教授 佐々木実准教授 下山佑助教 石河太知助教 | 微生物学演習 講義、実習で修得した知識を確実なものとして深化させ、問題解決能力の基礎を身につける。 | 1. 講義、実習で理解できなかった項目を列挙できる。 2. 理解できなかった項目の学習方法を説明できる。 3. 理解できなかった項目について学習し、説明できる。 4. 提示された課題の問題点を列挙できる。 5. 提示された課題についての学習方法を説明できる。 6. 提示された課題の学習を通して、自ら新たな問題点を見出すことができる。 |

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

| | 書 名 | 著者氏名 | 発行所 | 発行年 |
|---|-------------------------|----------|-------|-------|
| 教 | 口腔微生物学・免疫学 第3版 | 浜田茂幸ほか 編 | 医歯薬出版 | 2010年 |
| 参 | 微生物学 | 竹田美文ほか 編 | 医歯薬出版 | 1996年 |
| 参 | 口腔内科学 | 尾崎登喜雄 編 | 飛鳥出版室 | 2008年 |
| 推 | 病原体とヒトのバトル: 攻撃・防御そして共生へ | 山田 毅著 | 医歯薬出版 | 2005年 |

成績評価方法

| |
|--------------------------|
| 講義：小テストおよび授業態度 ----- 10% |
| 前期試験 ----- 90% |

オフィスアワー

| 氏 名 | 方式 | 曜日 | 時間帯 | 備 考 |
|------|-----|-----|-----|-----------------|
| 木村重信 | B-i | 月～金 | | 不在の時は教室員に伝言のこと。 |
| 佐々木実 | B-i | 月～金 | | 不在の時は教室員に伝言のこと。 |
| 下山佑 | B-i | 月～金 | | 不在の時は教室員に伝言のこと。 |
| 石河太知 | B-i | 月～金 | | 不在の時は教室員に伝言のこと。 |

授業に使用する機械・器具と使用目的

[微生物学]

| 使用機器・器具等の名称・規格 | | 台数 | 使用区分 | 使用目的 |
|---|-------------------------------|----|------------|-----------------------------|
| 二槽式アルミバス | ALB-301 | 1 | 基礎実習・研究用機器 | 実習に使用する試薬の調製 |
| 分光光度計制御用パソコン一式 | FMV-BIBLO FMVNE460R3 | 1 | 基礎実習・研究用機器 | 実習における細菌の成長の測定 |
| 実体顕微鏡一式 | SZ4045他 | 3 | 基礎実習専用機器 | 実習における細菌コロニーの観察 |
| コピー機 | imageRunner IR2210F | 1 | 基礎実習・研究用機器 | 講義・実習資料の作成 |
| バイオメディカルフリーザー一式 | MDF-U442特型 | 1 | 基礎実習・研究用機器 | 実習用菌株の保存 |
| パソコン一式 | MacBookPro1.83D uoMA463J/A | 2 | 視聴覚用機器 | 講義・実習講義のプレゼンテーション用 |
| 生物顕微鏡 | CX31N-11 | 8 | 基礎実習専用機器 | 実習における細菌形態の観察 |
| 実体顕微鏡 | SZ61-C-SET | 12 | 基礎実習専用機器 | 実習における細菌コロニーの観察 |
| ノートパソコン MacBook | MC240J/A | 1 | 基礎実習・研究用機器 | 講義・セミナー・研究発表のプレゼン、資料作成 |
| 一眼レフ フリーアングル ライブビューシステム | NY-E620 | 1 | 基礎実習・研究用機器 | 実習におけるコロニー形態の撮影 |
| フリーザー付薬用保冷庫 | MPR-414F | 1 | 基礎実習・研究用機器 | 実習用試薬、バッファー等の保管 |
| 分析天秤 | AB-265S/FACT11 139506 | 1 | 基礎実習・研究用機器 | 実習における試料、試料の重量測定 |
| USBデジタル顕微鏡・一式 | 1-8684-04 | 1 | 基礎実習・研究用機器 | 実習における細菌数、コロニー数の計測 |
| Takara PCR Thermal Cycler Dice(グランジエント機能付) | TP600 | 1 | 基礎実習・研究用機器 | 病原細菌の解析 |
| 振とう培養用非接触濁度計 | OD Box-A | 1 | 基礎実習・研究用機器 | 実習用細菌の培養 |
| ノートパソコンMacBook | MC240J/A | 1 | 基礎実習・研究用機器 | 授業・実習の資料作成 |
| デスクトップパソコン Mac mini | Education ZONN | 1 | 基礎実習・研究用機器 | 講義実習のスライド・レジメ作成 研究データの解析 |